

科目名	経済雇用政策演習 D
担当者	福島淑彦
配当学期	秋学期
単位	2単位
授業概要	修士論文作成のための研究をサポートする。論文の主題は特に「経済」や「経済政策」に限らない。修士論文を「論文」として論理的に展開することができるよう論文作成と研究の遂行をサポートする。
授業の到達目標	<p>第1クールは「経済政策演習 C」との連続受講を基本とし、下記のスケジュールで行う。</p> <p>第1クール: 「論理的に考えるためのトレーニング」を中心に行う。</p> <p>第2・3クール: 履修者が設定するテーマに基づいて、指導を行う。 履修者はクール内に自分の設定したテーマに関するプレゼンテーション(研究報告)を行い、クール末にペーパーの提出を求める。</p> <p>但し、3月修了予定の履修者については、第1クールから各自の設定するテーマに基づいて、指導を行いますので、e-mail等で連絡してください。</p>
授業計画	<p>第1クール: 「論理的に考えるためのトレーニング」を中心に行う。</p> <p>第2・第3クール: 履修者のプレゼンテーション(研究報告)に基づいて、参加者全員でディスカッションを行い、研究の方向を見出していく。</p>
教科書	<p>櫻井雅夫著「レポート・論文の書き方 上級」慶應義塾大学出版会</p> <p>斉藤孝・西岡達裕著「学術論文の技法」日本エディタースクール出版部</p>
参考文献	第1回の講義で提示予定。
成績評価方法	学習・研究の成果(クール内での研究の新たな進展・展開)に基づいて評価を行う。
関連 URL	
備考	<p>修士論文を科学的且つ論理的に執筆したいと考えている学生の参加を希望する。</p> <p>加えて、いろんなことに興味・疑問をもつ好奇心と積極的にディスカッションに参加する姿勢で演習に望んでいただきたい。</p>